



Le Journal de l' Etoile.

中 3 研修旅行～ 4 ・ 5 日目

4 日目、この日は京都・奈良の 1 日班別自由研修。最初に伏見稲荷神社へ。千本鳥居をくぐり続け、無事山頂まで到達しました。どこもかしこも大小問わず鳥居がありました。ちなみに稲荷山全体には鳥居が 1 万基あるが千本鳥居にはその名の通り鳥居の数は 1,000 もなく、実際は 800 基ほどらしいです。続いて三十三間堂へ。1,032 体の仏像と中心に聳え立つ千手観音のオーラに圧倒されました。堂の外壁につたって歩いて行くと、矢が一本天井に突き刺さっています。これは「通し矢」という競技で誤って突き刺さってしまったものでした。路面電車を使用し、北野天満宮へ。菅原道真公を祀っている北野天満宮では撫でた箇所が良くなると言い伝えられている撫で牛の頭を撫でさせていただきました。これで期末試験は安心です。最後に嵐山で抹茶アイスやわらび餅を堪能し、京都の街並みや文化を満喫して、この日は終了しました。

京都では、風景を壊さないために、建物の高さや色が制限されるという話を聞きます。確かに、コンビニの外観も黒などシンプルな色に統一され目立っていることはなかったです。東京や広島では見ることのできない、新鮮な景色です。

最終日、朝からどんよりとした空。雨の降る中、建仁寺・禅居庵で座禅体験。まずは座禅の正しい組み方を教えてもらいました。片足のくるぶしを逆足の腿にのせ、下になった足のくるぶしを上足の腿にのせる。背筋を伸ばし、顔は前を向いたまま目線は 1m ほど前の畳を見るように。深く深呼吸し、右手を上両手を組み、卵を作るようにします。ほとんどの人が足を組むことが出来ず、正座やあぐらで行っていました。座禅の際にはお坊さんに叩かれるイメージがありますが、お坊さんの独断で叩くだけでなく、自分からお坊さんにお願いし叩いてもらうことも可能です。座禅をすることで普段慣れない姿勢や環境に身を置き、静寂の中、ただただゆっくりと心を落ち着かせることができます。学校での祈りや黙想といった方法とは全く別だが、静かな環境で心を落ち着かせ、自分と向き合う時間を作るというのは両者ともに通ずるものだと思います。そういった意味で、人に必要なのは、心を落ち着かせ己について考えることなのだ、と考えさせられました。

長いような短いような、あっという間の 4 泊 5 日、僕にとっての初めて尽くし旅行は自分の糧になると確かに思えます。ただ「楽しい」だけの研修旅行という考えは初日からひっくり返されました。ガラス一枚越しに体感した死の痕跡、語り部さんの生の声、東京にいては見ることのない街並み、普段関わることのない宗教。平和とは何か考えたかと思えば、自分とは何かを考えます。そんな機会は滅多に得られるものではありません。楽しかった思い出と共に、自分の中に残り続けるでしょう。最高のメンバーと、最高の旅ができたことを僕は本当に誇りに思います。(中 3 H・T)

